



49号
2024年
8月発行

実験が好きな利用者さんと一緒に専用のキットを使って、ミョウバンの結晶、キラキラ石鹼、冷たいカイロの実験に取り組みました。これからも様々な実験にチャレンジしていきます！

写真：ピーターパンふくおかで利用者さんと実験で制作した作品

— 目 次 —

第24回 通常総会のご報告／新代表理事・副代表理事挨拶	P2~3
グループワークの進捗状況のご報告	P4~5
前代表理事 退任の挨拶	P6
NEW 職員紹介	P7
助成金のご報告	P7
スタッフリレー／第15 走者：仙台サンホーム 佐藤 春香	P8
ご寄付のお礼	P8

第24回 通常総会のご報告

令和6年5月25日(土)に水の森市民センターにて開催され、議案が提案通りすべて承認されました。代表理事の中村祥子が退任し、理事の互選により新しい代表理事に菅野淑江が就任しました。副代表は佐藤裕信と浅野弘絵が就任しましたことをご報告いたします。

2024年度の最優先課題

1. 安定した収支バランスの事業運営

持続的な事業運営を目的として各事業所が毎月の事業収支を把握し、利用者数・人件費率の検証・加算取得・経費節減など必要な対策を現場レベルで実践し、徹底した収支管理の実践を目指します。

また、経営研修を進めます。

2. 外部評価による支援の質の向上

今年度は児童発達支援事業を対象に、よこはま発達クリニックの佐々木康栄先生に中立的・専門的立場から外部評価をしていただき、その結果を受けての現場へのコンサルテーションや研修を通じて支援の質を高めていくことを目指します。

3. 人材育成のための職位別研修プログラムの構築・実施

新人職員・中堅職員・管理職などの職位別に期待される役割や必要な知識、支援スキル等を習得するための年間研修計画を作成・実施することで、グループゆう全体のレベルの底上げと職員の主体性を育てていくことを目指します。

新代表理事挨拶

代表理事 菅野 淑江



日頃よりNPO法人グループゆうを応援していただき、厚く御礼を申し上げます。

このたび中村代表理事からバトンを受けとった菅野淑江と申します。設立当初よりご尽力いただきました中村代表始め理事の皆さまには、グループゆうの理念や働き方など根幹的なベースを築いていただきました。これからも「あったらいいなの支援づくり」の精神を引き継ぎ、NPOの使命である社会的な課題へのアプローチに職員一丸となって取り組んでまいります。

昨今は、どの地域も少子化の進行が著しく、支援を受ける年代層の増加、国を支える働き手の減少、保健医療福祉財源の確保など社会的な動向を背景に、日常生活の安心安全を揺るがす保健・医療・福祉サービスの問題も山積しています。重ねて、ひきこもりや不登校の増加や、母子の愛着形成の課題や養育力に伴う子育て支援ニーズの増加など、提供サービスの量、質においても再構築や関連機関との連携協力が欠かせません。多様性の尊重とともに、それぞれの方の豊かな時間、楽しく有意義な人生の空間やこころの拠り所が保障され、ともに支え生きる（共生）社会の実現が望まれます。グループゆうは、より身近でより小さな声にも耳を傾け、安心して笑顔が取り戻せるような支援、その先の困難さを予防していく支援、新たな社会資源づくりやネットワークづくりなどをめざしてまいります。

職員個々がモチベーションを高め、いきいきとサービス提案ができる、それぞれの得意を活かして職場の活性化を図るなど、職員が主体的・自律的な行動力を備え、働き甲斐のあるグループゆうを築いていければと願っています。引き続き、ご理解とご協力、そして応援をよろしく願いいたします。



≫ 新副代表理事挨拶

副代表理事 佐藤 裕信



認定NPO法人グループゆうも、遂に、新たな装いで、歩み出すことになりました。90年代末以降に立ち上がったNPOが、世代交代を迎えています。地域での市民生活の質を高めるために、共生自治を目指して生まれたNPOという運動体が、その曲がり角に差し掛かっています。

サービスを決定し執行する行政に代わって、執行の部分をNPOが担い、行政の補完・隠れ蓑として市民にサービス提供し、市民はサービスの受益者として、受け手となり、サービス事業者者を選択するのみという構図になっています。NPOは、サービスの質を市民と共に検証し、時には新しいサービスを行政に提案していく使命を担う、市民と一体化したものなのに、サービスの代行として行政の側に取り込まれ、市民と向き合う構図になっています。本来は、市民とNPOは、同じ方向を見ていないといけないのに。

でも、見つめる先も不確かさを増しています。権利・平等といった目指すべき課題だけではない、一人ひとりの心の安定や穏やかな過ごしの「場」、柔らかく繋がる「関係性」が求められているのに、その「カタチ」が見えてきていません。「場」や「関係性」といった『器』を一緒に創造していくことが、これからのNPOの使命だと伝えたいです。

「ゆう」には、幼年期・学齢期・成人期・高齢者と「世代の危機」にある方々と関わる事業所があります。混乱の渦中にある故、ご本人やご家族は、発信する主体になりえず、与え手・受け手という直線的な流れに、無理に合わせられたり、はじかれてしまいます。地域の中に『器』を作り、ご本人・ご家族が活力を貯めて、発信する主体になれるよう、下支えできればと願っています。

副代表理事 浅野 弘絵



この度、副代表に就任いたしました浅野です。前任の中村祥子から事務局長のバトンを引き継ぐことになりました。

私がグループゆうで働き始めてあっという間に20年が経ちました。ボランティア時代を含めると24年になりますが、事務局長としては新米で、自分としても事務局長の何たるかが掴めないまま就任した駆け出しの身です。最初にお話をもらった時には「自分で大丈夫だろうか…」と不安もありました。今でもその不安がなくなった訳ではありませんが、それでもやってみようと思えたのは、困ったら助けてくれる仲間や様々な形で応援してくれる方々がいたからです。

改めて振り返ってみると“困ったら相談できる方がいる”というのは私だけではなく、グループゆうにとっての強みだと気付かされます。これまでのたくさんの出会いの中で、困っている時に力を貸していただいたり、分からないことを丁寧に教えていただいたり、想いに共感して一緒に働きかけてくださったり…と数えればキリがないほど多くの方々に支えていただいて今があるのだと実感します。この貴重な出会いに感謝し、これからもグループゆうの心の支えとして、お力添えいただけますと幸いです。

現場での支援に携わり続けていきながらではありますが、今後は新事務局体制のもと、安定的な事業の継続と新しいグループゆうの形を作っていくしたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

職員研修での グループワークの 進捗状況のご報告

中期計画の『風通しのよい風土づくり』の具体策として「理事や管理者だけでなく、全員参加型で事業運営や課題解決を考えていきたい」という思いから、昨年度より開始したグループワーク。その進捗状況をご報告します。法人全体に係わる課題の中から3つのテーマをピックアップし、職員が関心のあるテーマを選んで参画し、チームとなって課題解決を図ってきました。まだまだ完成とはいかない小さな歩みですが、今年度も引き続き自分ごととして取り組み、より風通しの良いグループゆうを目指します。

テーマ A

ITを活かしたグループゆうの訴求 ～HP・SNSなど～

目 標

現在の情報発信は主にHPと情報誌だが、発信内容や配布先が限定している。今後、HPを最大限活用し、不特定多数の人達への訴求力を高めたい。

2024年度中にグループゆうのホームページをリニューアル予定！

各事業所から聞き取りした「ホームページのリニューアル提案」は以下の通り

「放課後等デイサービス」 ピーターパンふくおか

- ◆ピーターパンの支援の特徴・強み
・大切にしていること[療育プログラム(自立課題、小集団活動等)
・家庭や学校での生活に繋がる支援]
- ◆ご家族インタビュー
- ◆体験談や変化 等

「計画相談」 トータルサポートセンターゆう

- ◆計画相談のサービス提供過程を分かりやすく記載(ご依頼からサービス提供までをフローチャートで！)
- ◆面談の様子画像等
- ◆空き状況の掲載や問い合わせをいつでも記載できるページ 等

共通の提案事項

- ①どんな事業所なのかわかる
日々活動の様子写真等の掲載
- ②事業所の目的・アピール事項

「自立訓練・就労継続支援 B 型」 ワークスペース歩°歩°

- ◆歩°歩°のB型のプログラムや特徴を紹介しInstagramにリンクさせる。
・作業の種類や販売写真
・商品(菓子や手作り品等)の紹介
- ◆歩°歩°の自立訓練の内容紹介
・身辺自立、余暇、運動、移動、買い物、グループワーク 等

「児童発達支援センター」 仙台市サンホーム

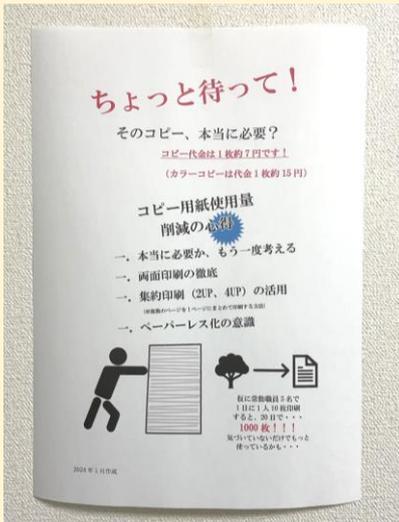
- ◆支援内容の紹介をQ&A形式で行う
・通園の形(親子・子ども一人)
・送迎
・利用開始までの流れ
・1日の流れ
・保護者勉強会
・地域支援 等

テーマB

ペーパーレス化

目標

紙ベースの資料を削減し経費節約につなげる。



▲ペーパーレス化推進ポスター

課題設定をしたことで各事業で発見したこと

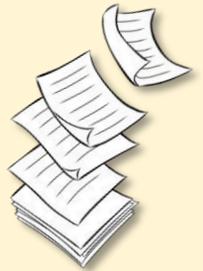
- ◆誤字脱字の発見を印刷して行い、間違いを正して再度印刷している。
- ◆情報共有の為に参加者全員分を印刷している。
- ◆データ保管を紙で行っていることが多い。
- ◆印刷枚数の多さに気付くきっかけになった。

ペーパーレスの意識づけに繋がった取り組み

- ◆ペーパーレス化推進ポスターの制作・掲示

各事業の削減効果

- ・ピーターパンふくおか：ひと月に約 200 枚
- ・仙台市サンホーム：ひと月に約 140 枚
- ・ワークスペース歩°歩°：ひと月に約 70 枚
- ・居宅、介護：ひと月に約 50 枚
- ・短期入所・日中一時：ひと月に約 10 枚



テーマC

学生さんとのつながり

目標

「ボランティア募集」のチラシを作り、大学で学生に手渡ししながらグループゆうの事業内容を説明し、興味のある人にボランティア参加を誘う。

実施内容

- ・各事業のボランティア受け入れ希望の聞き取りとチラシづくり(今回は仙台市サンホームのみ)



- ・大学の受付窓口調査・訪問 (宮城学院大学) & (宮城大学) に受け入れていただく
- ・ボランティア担当課の職員さんや教員の方に事業紹介をし、チラシ配布を依頼
- ・ボランティア活動で得られる体験等もお伝えする
- ・大学の掲示板にボランティア募集チラシを掲示して頂く



- ・今後、法人の他事業にもチラシを依頼
- ・法人のボランティア受付窓口を設置
- 【オリエンテーション：ボランティア保険、個人情報保護等説明】
- ・学生が体験してみたいと思えるボランティアメニューの選択肢を広げ、継続してチラシの掲示に協力してもらえる大学を増やす



▲大学に掲示していただいたチラシ

退任の挨拶



2024年6月30日付で理事を退任いたしました。設立世代から次世代に事業継承できたことを皆さまにご報告できることに安堵しております。振り返りますとこの28年間はミッションの実現に向けた基盤作りだったと思いますが、今、社会的課題はより重層化しております。ご家族はじめ関係機関の皆様には、これまで以上のご支援、ご鞭撻をグループゆうにお寄せいただきますよう、心よりお願い申し上げます。

さて退任に当り、改めて設立からこれまでを思い起こしますと、大勢の仲間の顔が浮かび、夜中まで議論した声までが蘇りました。皆と「誰もが幸せに暮らす社会づくり」に取り組んだ28年は大変有意義で楽しい年月でした。一つひとつの事業の背景や一人ひとりの貢献もお伝えしたいのですが、それはまたの機会にして、“普通の市民が集まって作ったNPO”ならではの活動の経緯を伝えていきたいと思ひます。

一つに「一人の自立を支援する」インキュベイト(孵化)的な地域拠点づくりをしました。

入口は配食サービスの開始を機に集った主婦たち。配食サービスは高齢者の在宅支援を目的に仙台市が後押ししたのですが、グループゆうは、女性の介護離職をふせぐ役割も目標に置きました。妻・嫁・母親と呼ばれる方に込められた性別役割分担を社会課題と考え“男女共同参画社会”を目指して“妻でも嫁でも母でもない一人の人間”としての人権を認め合いたいと、無償労働(家事・育児・介護)の社会化を目指して行動を始めたのです。差別への是正意識は、その後出会った障がい児・者や家族等へと対象が広がり、課題解決に向けて“あったらいいあのサービスづくり”を合言葉にサービスの種類も変化していきました。

配食サービスに続いては助け合い、介護保険、居宅支援、放課後支援、福祉有償運送、レスパイト、就労支援、児童発達支援、生涯にわたるサポート計画作りの支援、地域の居場所、子ども食堂、短期入所等へと続くことになったのです。この間介護が社会化(介護保険)され、グループゆうでの経験を経て資格を取得し、多くの女性や男性がよりキャリアを目指し羽ばたいていきました。支援者のインキュベイト支援は重要だと思ひますが、現在、資格重視の制度改正が行われた為、さなぎがチョウになるまでじっくり育む余裕が多くのNPOになくなりつつあることが課題です。それでも、子どもたちや青年層は日々成長し、高齢者は在宅生活を維持し、グループゆうの“生涯支援”に見守られて一人ひとりが目指す自立に向かっていきます。これが何よりの私の活動源でした。

もう一つ取り組んだことは「支援の見える化とチーム支援」の推進です。

児童館と同様の障がいのある子どもの放課後の居場所を地域に作ろうと、家族とともに「ピーターパン」を創ったものの、子どもたちのパニックが起こる原因がわからず悩みました。その回答を求めて多くの研修に参加し、TEACCH(ティーチ)の概念にたどり着き、職員の基礎研修に取り入れて、日々の個別支援への応用を目指しています。支援を属人化せず、誰もが対等に検証に参画できるチームアプローチを模索中です。まだまだ概念の理解や個別特性に沿う支援スキルの獲得には差がありますが、支援の方向性の共有が図れたと考えています。

最後にゆうの風土について

グループゆうは、利用者に役立つ支援を自分事として探り続けてきました。常に自身の支援を疑い、他者の検証を受け入れる試みが、利用者に役立つ支援の要だと思ひます。「支援の質を検証し続ける風土」を、支援者も拠り所とし、そして誇りにして歩いて行ってほしいと願っています。

前代表理事・事務局長 中村 祥子



New 職員紹介

ワークスペース歩°歩° [R6年3月～]

はっとり たかみ
服部 貴美

- 趣味・特技…音楽を聴くこと
- 好きな言葉…ありがとう
- 抱負…利用者の方たちと一緒に
おいしいクッキーを作れるように頑張ります。



ピーターパンふくおか [R6年5月～]

かとう めぐみ
加藤 恵

- 趣味・特技…読書・旅行
- 好きな言葉…一期一会
- 抱負…日々学び、子ども達がいきいき
過ごせるよう元気に頑張ります。



ワークスペース歩°歩° [R6年4月～]

ちだ なおみ
千田 直美

- 趣味・特技…知らないところに行くこと
- 好きな言葉…ありがとう
- 抱負…皆さんと仲よく楽しく働きたいと思います。



ワークスペース歩°歩° [R6年5月～]

えくち さやか
江口 さやか

- 趣味・特技…好きな歌手の
音楽・DVD鑑賞
- 好きな言葉…なんとかなる。
- 抱負…5月から勤務開始したばかりなので、
まずは仕事に慣れることに精一杯頑張りたいと思います。



ワークスペース歩°歩° [R6年4月～]

すずき さやか
鈴木 小弥香

- 趣味・特技…リメイク・スイーツ食べ
- 好きな言葉…笑う門には福来る
- 抱負…緊張しやすいので、
笑顔を忘れず、早く打ち解けたいと思います。



助成金のお礼

公益財団法人洲崎福祉財団
2024年度一般助成・ピーターパンふくおか
エアコン入替工事

公益財団法人洲崎福祉財団様より2024年度一般助成にて46万円の助成を受け、6月16日にピーターパンふくおかのエアコン入替工事を実施いたしました。

ピーターパンふくおかは安全管理の観点から室温管理をエアコンによってのみ行っておりますが、1階と2階に設置されていたエアコンが古くなり、室温調節が充分にできなくなっていたため、助成金をいただいて新しいエアコンを2台入替させていただきました。

工事は梅雨に入る前に終わり、体温調整が苦手な利用者様の体調管理がしやすくなり、プログラムにも集中できる環境を整えることができました。どうもありがとうございました。

<before>



<after>



スタッフリレー

職員が職員に質問したり、仕事以外の自由記述から普段は見えない素顔を紹介する企画です。第14走者「岡田 幸さん」から第15走者「佐藤 春香さん」へバトンが渡されました。

●第15走者: 佐藤 春香



●所属：仙台市サンホーム

●勤続年数：8年

●出身地：宮城県 仙台市

●春香さん教えて！ ※岡田 幸さんからの質問です

●最近のマイブーム：絵本集め

●休日にランチを食べに行くとしたら：友だちとオシャレなカフェに行きたい

●リラックスできる過ごし方：家族が寝た後に一人で映画を観ること（特に洋画が好きです）

●県外ならどこに行ってみたい？：屋久島

●願い事が1つ叶うならどんなこと？：オーロラが見てみたい！！

●他の人におすすめしたい景色の良いところ：泉ヶ岳にある“泉ピークベース”から見える景色がおすすめです☆

自由記述欄 絵本の紹介

絵本を集めては子どもと読むのがマイブームですが、今、気に入っている絵本をいくつか紹介したいと思います☆



カラーモンスター きもちはなにいろ

カラーモンスターが持つ様々な感情を色ごとに分けていくストーリーです。感情は複雑ですが、色で分けると案外分かりやすいかも？と思える内容です。

もうぬげない

お風呂に入るために、服を脱ぐだけなのに…その過程が面白おかしく描かれています。



今回ご紹介した絵本はおすすめのほんの一部です。見かけた際には、ぜひ手に取ってみてください♪ちなみに大沢イオンの中に移転した薫屋書店が、広々して児童書も豊富でおすすめです☆

第15走者 佐藤 春香さんから、トータルサポートセンターゆうの佐藤こす枝さんにバトンが渡されます。次号もお楽しみに！

常勤職員 & パート職員 急募！

詳細はホームページで

(放課後等デイサービス) ピーターパンふくおか

保育士・児童指導
(常勤) 1名
(パート) 5名

居宅介護

ホームヘルパー
(パート) 5名

(就労継続支援B型) ワークスペース歩歩

生活支援員
(常勤) 1名



まずはご見学だけでも！ お知り合いのご紹介も大歓迎！

ご寄付を
ありがとうございます
ございます

ご寄付は、制度で手の届かない支援や、環境の整備、研修等に使用させていただきます。そして、2024年度にⅢ期目の認定更新にチャレンジします。これからも信頼し、応援していただける法人になれるよう事業の質を高め、社会的課題に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【令和6年4月～7月】（※敬称は略させていただきます）

秋保 明、阿部 薫、内館昭子、柏 貴之、黒澤 哲、齋藤 毅、清水八千代、白木悦子、濱谷幸子、谷津尚美、丸登志子

編集後記

次号から事業所が担当するページが始まり、情報発信の担い手層が広がります。お楽しみに！

N

これが最後の本部移転か…膨大な書類の山と片付けを夢にまで見る日々です

A

中村さん、長い間お疲れ様でした。今後もお身体に気を付けて「ゆう」の成長を見守ってください。

K

グループゆうの足跡を辿ると、バイタリティー溢れる創設時の理事たちを改めてリスペクト！

T

発行：認定 NPO 法人 グループゆう
〒981-3212 仙台市泉区南中山 2-12-3
【TEL/FAX】022-376-7679
【ホームページ】<https://www.g-yuu.com>